

関西大学国際部主催



THE GLOBAL GOALS

2024年度 国際協力セミナー

アフリカに対する開発協力と日本の役割

アフリカには、経済成長著しい国もありますが、貧困・飢餓に日々直面している人々もまだ大勢います。被援助国の政府・人々の声を大切にしつつ効果的な開発協力をするために、日本や世界はどのような取り組みを行うべきでしょうか。本セミナーでは、開発協力政策に携わった経験があり、現在も大学で開発教育を積極的に行っている講師にご講演いただきます。

日時

6月4日 (火)

16:20 - 17:50 (5限)

場所

千里山キャンパス
第1学舎 5号棟E501教室

ハイブリット



【対象】

本学学生・教職員、一般の方（他大学学生含む）

【参加費】

無料

本セミナーは、ハイブリットでの開催となります。

Zoomでご参加をご希望の方は以下URLまたは二次元コードよりお申込みください。対面で参加をご希望の方は登録不要です。当日、直接教室へお越しください。

<https://forms.gle/5fWNKgvNj5Y3CQ6u7>



講師

中京大学国際学部 准教授
尾和 潤美（おわますみ）氏

英国サセックス大学（修士）、英国ウォーリック大学（博士）。外務省専門調査員として在ウガンダ日本大使館（2003-2007年）、OECD日本政府代表部（2008-2010年）に勤務し、日本のODA業務や開発協力政策に携わる。専門は、国際協力・アフリカ地域研究。主要著書に“Changing Aid Architecture in Africa through the Encounter between OECD Countries and non-OECD Countries” in *New Asian Approaches to Africa: Rivalries and Collaborations* (2020)、“The Changing Global Aid Architecture: An Opportunity for Japan to Play a Proactive Global Role?” in *Japanese Development Cooperation: The Making of an Aid Architecture Pivoting to Asia* (2016)、『国際開発学事典』（2018）「先進国援助コミュニティの形成とその多様性」（17章）「援助国と被援助国・国際援助システムの変容」（18章）。

MORE INFORMATION

<https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/>

